

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0402007

政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15	環境の保全	事業優先度	A		
単位施策	4	ごみ・し尿処理の推進	政策事務分類	2	単独自治事務(個別計画)	
事業名	リサイクル推進事業		見直し年度			
事業期間	平成20年度～平成24年度		担当課	4	住民生活課	
事業主体	町		関係課	#N/A		
事業指標	ごみ排出の減量化・リサイクル率の向上		関係課	#N/A		
事業目標	1人1日あたり排出ごみ783gから38gの減・リサイクル率26.6%より6.2%向上		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	2		関係例規・法令名	2	廃棄物処理法	
住民協働			関係個別計画名	1	一般廃棄物処理基本計画	

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計 画 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定袋(収入証紙付)の作製 ・売捌き手数料の支出 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定袋(収入証紙付)作製 ・売捌き手数料支出 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定袋(収入証紙付)作製 ・売捌き手数料支出 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定袋(収入証紙付)作製 ・売捌き手数料の支出 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定袋(収入証紙付)作製 ・売捌き手数料の支出 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定袋(収入証紙付)作製 ・売捌き手数料の支出 	
	計 画 事 業 費	事業費(千円)	27,289	5,900	5,330	5,399	5,330
財 源 内 訳	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	12,170	3,081	2,322	2,123	2,322	
	一般財源	15,119	2,819	3,008	3,276	3,008	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	24,240	2,112	5,933	5,347	5,436	
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	9,817	1,050	2,000	2,123	2,322	
一般財源	14,423	1,062	3,933	3,224	3,114		
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) ・ごみ処理手数料 【評価・実績】	(実施内容等) ・ごみ指定袋(収入証紙付)の作製 ・雄武商工会への売捌手数料の支出 (指定袋による有料化により、ごみの減量化、資源ごみの分別を行う) ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) ・ごみ指定袋(収入証紙付)の作製 ・雄武商工会への売捌手数料の支出 (指定袋による有料化により、ごみの減量化、資源ごみの分別を行う) ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) ・ごみ指定袋(収入証紙付)の作製 ・雄武商工会への売捌手数料の支出 (指定袋による有料化により、ごみの減量化、資源ごみの分別を行う) ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) ・ごみ指定袋(収入証紙付)の作製 ・雄武商工会への売捌手数料の支出 (指定袋による有料化により、ごみの減量化、資源ごみの分別を行う) ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) ・ごみ指定袋(収入証紙付)の作製 ・雄武商工会への売捌手数料の支出 (指定袋による有料化により、ごみの減量化、資源ごみの分別を行う) ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	排出ごみの減、リサイクル率向上	排出ごみの減、リサイクル率向上	排出ごみの減、リサイクル率向上	排出ごみの減、リサイクル率向上	排出ごみの減、リサイクル率向上
		年度達成率	36%	111%	99%	102%	102%
		全体達成率	8%	29%	49%	69%	89%
		事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	リサイクル推進事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	渡邊 孝司
		評価者 作成者 職氏名	環境衛生係長	苔米地 幸二

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民(一般家庭ごみ)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	廃棄物のリサイクル率 32.8%	
【抱える課題やニーズは】	最終処分場の延命化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ごみの減量化、費用負担の公平化	① 資源ごみの重量÷総廃棄物の重量/リサイクル率(%)	目標年度	平成24年度
			目標値	32.8%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	新たな経費負担の回避(廃棄物最終処分場)	②	実績値	23.7%
			達成度	72.3%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	ごみ指定袋の有料化	ごみ指定袋(収入証紙付)の作成及び売捌き手数料の支出		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	指定袋による有料化が住民に浸透し、ごみの減量化に係る意識付けが図られており、最終処分場の延命化により、新たな経費負担が回避できる
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	資源ごみは適正に処理されており、指定袋による有料化が住民に浸透し、リサイクル化が進んでいる状況にあるが、ごみの搬出量が増加傾向にある。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	指定袋による有料化が住民に浸透し、ごみのリサイクル化が図られており、資源売払い収入は廃棄物処理財源に充てるなどコストに見合った効果が得られている
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

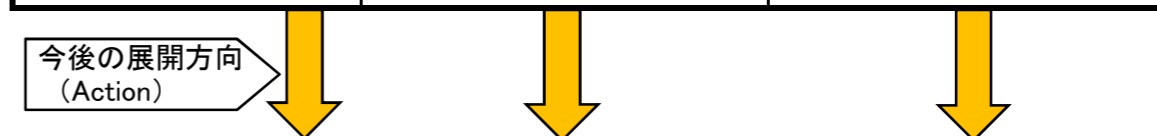
公平	判断の理由	指定袋による有料化により、費用負担の公平化がなされていると判断する
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
指定袋によるごみの有料化は、町民のごみの減量化及び資源ごみのリサイクルの推進に係る意識の定着を図られているが、近年はごみの搬出量が増加傾向にあることから、ごみの減量及び資源化に向けた取組みが必要です。	同左	



継続/現状維持	継続/現状維持	
本事業は、ごみの減量化、リサイクルの推進の意識付けを行い、ごみ処理に係る経費負担の軽減を図る上で継続実施が必要な事業であるが、今後は町広報誌等を活用し、ごみの減量化等に向けた取組みを行うこととします。	同左	

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止